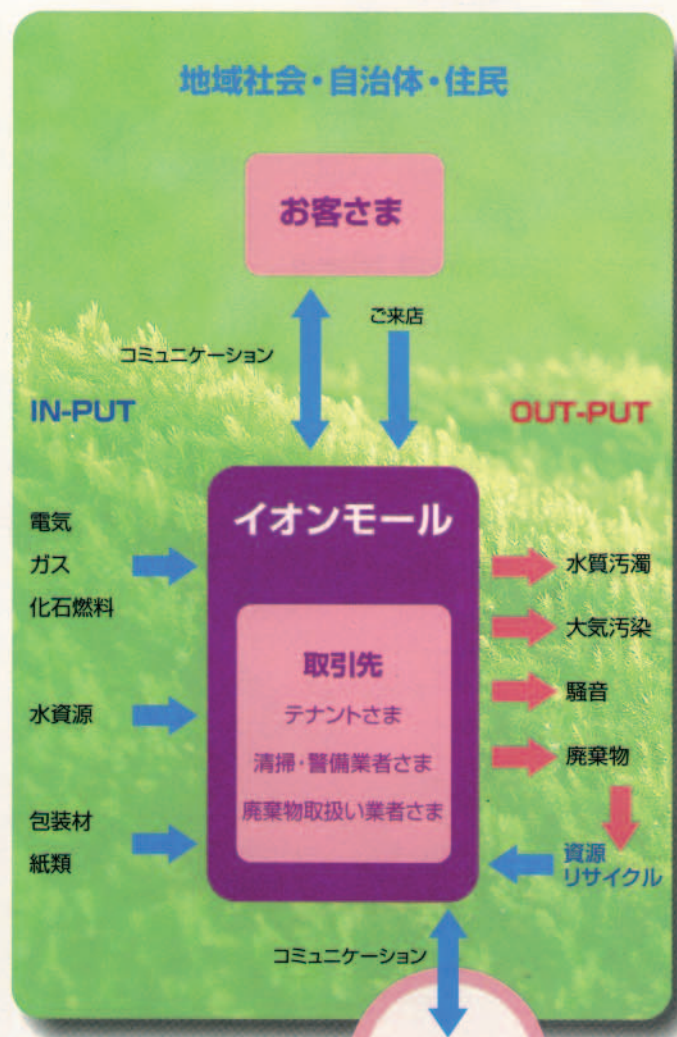


私たちは 子どもたちに、 未来に、 何を残せるのでしょうか



事業活動と
環境との関わり



守ること、 続けること、 お知らせすること

環境方針

- 1 当社は、地球環境の保全を積極的に推進し、お客さまの生活環境の向上に貢献するとともに地域社会の発展に寄与してまいります。
- 2 当社は、環境マネジメントシステムを構築し、事業部門毎に目的・目標を制定し、汚染を予防する体制を築き、継続的な改善を推進します。
- 3 私たちは、循環型社会の構築をめざします。
 - ① ショッピングセンター部門は「ゼロエミッションショッピングセンター」をめざし、可能な限り廃棄物のリサイクルと発生抑制を推進します。
 - ② 保険部門は「紙の削減」をはじめ、環境を配慮した業務活動を推進します。
- 4 私たちは、地球環境保全のため、すべてのお客さまとのより良いパートナーシップを推進し、私たちの環境保全活動の情報を提供します。
 - ① ショッピングセンター部門では、テナント従業員の皆さまとのパートナーシップを推進してまいります。
 - ② 保険部門では、各保険会社をはじめとするお取引先さまとのパートナーシップを推進してまいります。

私たちは、この方針に従業員に周知するとともに社内コミュニケーション体制を構築し、より良い事例の水平展開を積極的に推進します。
- 5 私たちは、地球環境保全のため省エネルギー・省資源を推進します。

そして、環境法規制やその他受け入れを決めた要求事項を遵守し、環境方針をすべてのお客さまに公開し、地球環境の保全に寄与します。

2002年3月8日
イオンモール株式会社
取締役社長 川戸 義晴

「今」は 「未来」へと 続く通過点

環境目的・目標

- 【全社目的・目標】
1. 2003年度までに電力使用量を2000年度対比3%削減します。
2002年度は2000年度対比2%削減します。
 2. 2003年度までに水道使用量を2000年度対比10%削減します。
2002年度は2000年度対比7%削減します。
 3. 2003年度までにコピーの使用量を2000年度対比20%削減します。
2002年度は2000年度対比10%削減します。
 4. 2003年度までにコピー用紙の使用量を2000年度対比30%削減します。
2002年度は2000年度対比25%削減します。
 5. 廃棄物の削減をめざします。
 - (1) 「ゼロエミッションショッピングセンター」をめざします。
 - (2) 保険部会は「紙の削減」をめざします。

- 【部会別目標】
1. SC開発部会
 - ・ SC開店時に、環境配慮がわかる表示を推進します。
 - ・ 規制対応や環境配慮等に関する情報を次への伝達ルールを定めます。
 2. SC運営部会
 - ・ 法規制対応への独自基準を制定します。
※独自基準とは、それぞれの法基準値と比較しより詳細な厳しい基準をいいます。
 - ・ 後方業務を改善し、標準化を推進します。
 3. 保険部会
 - ・ 内務処理を改善し紙を削減します。
 4. 管理部会
 - ・ 環境情報を発信し、社外コミュニケーションを促進します。
 - ・ 会議体・行事の共有化をめざし、全社コミュニケーションの向上をめざします。

2002年3月11日
イオンモール株式会社
取締役社長 川戸 義晴

たとえ少しずつでも、着実に成果を積み上げていくことが大切。私たちの取り組みは、100年後、200年後の世界にもつながっています。

イオンは木を植えています。
全国のショッピングセンターで植樹に取り組み続けます。

環境効率

環境効率は、地球のための効率を示す数字で、イオンモールの事業活動がどれだけ環境に影響を与えるかを示す指標です。
省エネルギー、省資源、生産性の向上に今後も努力することで環境への負担をさらに少なくします。

植樹

SC累計約52万本を植樹。地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収します。

エネルギー

SC全体使用量-テナント使用量=イオンモールSC使用量
新規のショッピングセンターでコジェネレーションの導入を推進しています。排熱を利用することで従来の発電に比べて2倍(80%)のエネルギー利用効率が見込まれます。

リサイクル

廃棄物のリサイクルを推進し、焼却処分しないことで二酸化炭素の発生を抑制。地球温暖化の防止に貢献します。同時にリサイクル資源を使用することで地球資源を保全します。

OA用紙

コピー用紙は再生用紙を購入します。
1tの再生紙の利用で立ち木20本を保全します。

水

2001年度は水道使用量のみを集計しましたが、2002年度は水道使用量+地下水汲み上げ量=下水道使用量と放散水量を集計します。
(SC全体使用量-テナント使用量=イオンモールSC使用量)
地球上の水14億km³のうち、地表・地下水として存在する淡水の量はわずか0.8%に過ぎません。

イオン 環境理念

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というグループ理念のもと、企業市民としての社会的責任を果たすため、社会貢献活動と環境保全活動を積極的に推進していきます。同時に私たちは、環境保全活動が地域に根ざしたものであると認識し、地域の方々とパートナーシップを育み、循環型社会の構築を目指します。

イオンモール株式会社 環境方針

当社イオンモールはイオンの一員として、
ショッピングセンターの開発と運営及び保険代理店業務を遂行するにあたり、
私たち従業員は、開かれたところで活力ある企業風土を構築し、
お客さまをはじめとする皆さまの日々の暮らしの「安心」と「安全」を常にこころがけ、
全てのみなさまのこれからを「夢のある未来」に変えていきます。

- 1 当社は、地球環境の保全を積極的に推進し、お客さまの生活環境の向上に貢献するとともに地域社会の発展に寄与してまいります。
- 2 当社は、環境マネジメントシステムを構築し、事業部門毎に目的・目標を制定し、汚染を予防する体制を築き、継続的な改善を推進します。
- 3 私たちは、循環型社会の構築をめざします。
①ショッピングセンター部門は「ゼロ エミッション ショッピングセンター」をめざし、可能な限り廃棄物のリサイクルと発生抑制を推進します。
②保険部門は「紙の削減」をはじめ、環境を配慮した業務活動を推進します。
- 4 私たちは、地球環境保全のため、すべてのお客さまとのより良きパートナーシップを推進し、私たちの環境保全活動を目に見えるかたちで情報を提供致します。
①ショッピングセンター部門では、テナント従業員の皆様とのパートナーシップを推進してまいります。
②保険部門では、各保険会社をはじめとするお取引先さまとのパートナーシップを推進してまいります。
私たちは、この方針を従業員に周知するとともに社内コミュニケーション体制を整備し、より良い事例の水平展開を積極的に推進します。
- 5 私たちは、地球環境保全のため省エネルギー・省資源を推進します。

そして、環境法規制やその他受け入れを決めた要求事項を遵守し、環境方針をすべてのお客さまに公開し、地球環境の保全に寄与致します。

2002年3月8日

イオンモール株式会社

代表取締役社長 川 戸 義 晴

木を植えています
私たちはイオンです

イオンモール株式会社 環境目的・目標

【全社目的・目標】

- 1 2003年度までに電力使用量を2000年度対比3%削減します。
・ 2002年度は2000年度対比2%削減します。
- 2 2003年度までに水道使用量を2000年度対比10%削減します。
・ 2002年度は2000年度対比7%削減します。
- 3 2003年度までにコピーの使用量を2000年度対比20%削減します。
・ 2002年度は2000年度対比10%削減します。
- 4 2003年度までにコピー用紙の使用量を2000年度対比30%削減します。
・ 2002年度は2000年度対比25%削減します。
- 5 廃棄物の削減をめざします。
①「ゼロ エミッション ショッピングセンター」をめざします。
②保険部会は「紙の削減」をめざします。

【部会別目標】

- 1 SC開発部会
・ SC開店時に、環境配慮が判る表示を推進します。
・ 規制対応や環境配慮等に関する情報を次への伝達ルールを定めます。
- 2 SC運営部会
・ 法規制対応への独自基準を制定します。
※独自基準とは、それぞれの法基準値と比較し、より詳細な厳しい基準をいいます。
・ 後方業務を改善し、標準化を推進します。
- 3 保険部会
・ 内務処理を改善し紙を削減します。
- 4 管理部会
・ 環境情報を発信し、社外コミュニケーションを促進します。
・ 会議体・行事の共有化をめざし、全社コミュニケーションの向上をめざします。

2002年3月11日

イオンモール株式会社

代表取締役社長 川 戸 義 晴

木を植えています
私たちはイオンです